

新藤信夫市政ニュース

平成18年1月

Vol.6

発行:自民党さいたま市議会議員大宮区西支部
TEL・FAX
048-647-7713



あいさつ

新藤信夫

皆様、新年明けましておめでとございませう。健康やかに平成18年の新春をお迎えのこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より議員活動に対し、皆様から温かなご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

平成18年1月1日は、さいたま市にとってすばらしい幕明けの日となりました。サッカー第85回天皇杯決勝で、浦和レッズが清水エスパルスに2対1で競り勝ち、Jリーグ発足後、初の前身の三菱重工時代を数えると25年ぶりの優勝を勝ち取り、さいたま市の名を元日早々全国に轟かせました。昨年12月29日には、準決勝に進んだ浦和レッズと大宮アルディージャとの間で、「さいたまダービー」となりましたが、最後まで延長戦まで持ちこたえて王者レッズに食いついたアルディージャが見せた闘志も感服するものがありました。今回のレッズの天皇杯初優勝は、準決勝のアルディージャ戦も含めて「サッカーのまち さいたま」に新たな歴史を刻むものであり、両チームとも今後もさらに地域に密着したクラブチームとして活動し、多くの市民に夢や感動、そして活力を与えてくれました。そして何よりも浦和レッズには、今年のJリーグチャンピオンを勝ち取ってほしいものです。

さて、平成13年に三市が合併したさいたま市も五年目を迎え、その間平成15年には全国13番目の政令指定都市となり、昨年は、岩槻市を編入合併して118万人が暮らす、全国9番目の大都市として再スタートを切った。今年平成18年は、その足固めとなる年となります。昨年はまた、県と協力して、市内に上場企業2社（クラリオン、カルソニックカンセイ）の誘致を決定しました。

このように、企業が集まって来て、人々も集まり、市民が誇りを持つるまちづくりを進めて行かなければなりません。全国的には、昨年からすでに人口減少が始まっていますが、東北日本の玄関口となる大宮駅を要するさいたま市には、これからも多くの人々が集まり、若い力と実力のある企業が立地し、大きなポテンシャルとなつていきます。

急激な少子高齢化が、産業や市民生活に大きな影響を与えようとしている中で、強く自立性の高い財政基盤を築くことは、21世紀前半の地方自治体の責務であり、そして、地域の課題は地域で解決できる組織作りも重要な課題です。

誰もがいつまでも住み続けたいまちづくりに向けて、生活環境の整備により一層の努力をまいります。

皆様には、さいたま市発展のため、さいたま市議会議員 新藤信夫に對し、さまざまなご指導をお寄せいただき、ありがとうございます。新年のごあいさついたします。



中川秀直 自民党政調会長に税政改正についての陳情書の提出と意見交換

三橋中央通線 本格工事着工

大宮駅西口の駅前通りである三橋中央通線の内、国道17号線から都市計画道路荒川左岸線までの約770mについては、すでにほとんど用地買収が終わり、工事の着工を待つばかりとなっていました。平成18年から本格的な工事に着手することが決まり、昨年暮から準備に入っています。

昨年度は、電線共同溝の工事を道路予定地の北側を中心に約700m完了しておりましたが、今年からは道路築造工事139m（4車線化）と、西大橋の架替工事が始まり、平成19年度を完成目標として、大きな第一歩をふみ出すことになりました。

下図のとおり工事区間で工事が始められ、桜木小北西側の鴻沼川にかかる西大橋では、工事中は、車線の切回しが行なわれ、通行する皆様には完工予定の9月頃までたいへん迷惑をかけることとなりますが、立派な4車線道路が完成

することを期待して我慢をしていただきたいと思います。残りの道路築造は、19年度までに2工区に分けて発注させます。また、桜木小学校の北側部分については、校舎の一部移転を伴う工事となるため、平成20年中頃の工事が見込まれます。

延伸部分の荒川左岸線から新大宮バイパスについては、平成18年度末までに事業決定を行ない、平成19年中頃から用地買収に着手する予定となっており、用地測量を今年2月から着手予定で、そのための説明会が間もなく三橋公民館で行なわれます。

延伸部の完成は、今のところ平成24年となっていますが、事業化の前倒しと円滑な用地買収によって、一年でも早く完成することを期待するものです。



「平和都市宣言」を制定

さいたま市は12月21日、政令市となって初めての都市宣言となる「さいたま市平和都市宣言」を制定しました。

同日開かれた市議会本会議の前に、相川市長が宣言を行ない、市役所庁舎前のセントラルガーデン内に設けられた制定を伝えるための広告塔の除幕式が行われ、市議や市議員200名が出席しました。

戦後60年に当たり、核兵器等の廃絶と戦争やテロを根絶し、恒久平和実現に貢献することを、市議会が全会派一致で「宣言の制定を求める決議」を9月議会で、平和推進検討委員会で草案作りを進めていたもので、パブリックコメントを経て、決定となりました。

これからは、平和を希求する市の基本理念を広く内外に発信し、世界に開かれたまちづくりを進めることとなります。

「さいたま市平和都市宣言」全文は市HPに掲載され、各区役所にもパネル掲示されています。



さいたま市平和都市宣言広告塔

「さいたま市平和都市宣言」(全文)

世界の恒久平和実現は、人類共通の願いです。
戦争を経験したわが国は、世界で唯一の核被爆国として、戦争の怖さ、惨めさ、無益さを、また、核兵器の恐ろしさを世界の人々に伝えてきました。
しかしながら、今なおこの地球上では、戦争やテロリズム等により多くの尊い命が奪われています。
平和を希求する私たちさいたま市民は、国際社会の一員として、世界に開かれたまちづくりを推進するとともに、核兵器等の廃絶と世界の恒久平和実現に貢献することを誓い、戦後60年にあたり、ここに平和都市を宣言します。
平成17(2005)年12月21日 さいたま市

国政調査速報値発表

12月27日の閣議で竹中総務大臣は、昨年10月1日に実施した国政調査の速報値を報告しました。国政調査は、日本に住んでいる全ての人を対象に人口、世帯構成などを把握するために行われる統計調査で大正9年から5年ごとに行われており、今回が18回目の調査となりました。

速報値によると、日本の人口は1億2,775万6,815人で、平成16年10月時点の推計値1億2,777万6千人よりも約1万9千人減った結果となり12月16日に閣議決定した「2005年版 少子社会白書」の中で「超少子国」との表現を使って、総人口の減少が当初予想より1年早い06年にも始まるとの見通しでしたが、さらに1年早まって05年から早まったことを示すこととなりました。

同時にさいたま市の調査結果も発表され、総人口は117万6,269人(平成12年調査時に比べ4万2,969人増、+3.8%)、男性59万9,011人、女性58万5,368人、世帯数は46万1,338世帯となりましたが、増加率については大正9年の第1回調査以来最も低い伸びとなりました。また世帯数については8.2%の増加となりましたが、1世帯当りの人員は2.56人と減少が続き少子化に伴って小世帯化が進んでいることがはっきりと現れています。各区の世帯数、人口は別表のとおりですが岩槻区では5年前と比べて272人の減少となりました。

この調査結果は平成19年(来年)4月に行われる市議会議員選挙の各区定数算出の基礎となるもので、岩槻市合併に伴って7人増員し、71人となっている定数を、次回選挙においては64人以下に引き下げるようになります。今後議会において各区定数の割振りが行われることとなりますが、大宮区では現定数7人が6人となることは確実で、5人となる可能性もあります。

調査員の皆様には個人情報保護法との関連もあり、調査にはこれまで以上にたいへんだったと聞いております。ご苦勞様でした。

区別	世帯数(世帯)	人口(人)		
		総数	男	女
全市	460,013	1,176,269	590,901	585,368
西区	29,326	82,346	40,969	41,377
北区	52,481	132,092	66,698	65,394
大宮区	44,274	106,470	52,949	53,521
見沼区	56,829	152,592	76,049	76,543
中央区	37,341	90,361	45,556	44,805
桜区	38,359	92,885	48,487	44,698
浦和区	57,613	139,855	69,100	70,755
南区	68,711	166,679	84,762	81,917
緑区	36,578	104,014	51,967	52,047
岩槻区	38,501	108,975	54,664	54,311

大宮区防災訓練

第4回大宮区防災訓練が、平成17年10月30日(日)9時30分から大宮消防署訓練場(天沼町1丁目)において行われました。

想定では、6時55分にさいたま市域を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生し、震度6強の揺れに見舞われ、市内のいたるところで家屋の倒壊、道路の寸断、ライフライン等の被害が生じるとともに、火災も発生して、多数の負傷者が生じたことを前提としておこなわれました。

当日は、肌寒い天気にもかかわらず、区内各自治会を中心とした自主防災組織をはじめとして、市消防団等54団体から840人が参加し、救出救護訓練や、放水消火訓練等14の訓練項目を実施してとどこおりの終了しました。

私もオイル/消火訓練に参加。比較的小さな火であっても、放射熱の体に感じる熱さと、屋内で火災が発生した時の恐ろしさを体験させていただきました。これは、実際に体験しないと実感できないものであるため、次回からはより多くの皆様の参加を期待いたします。



オイル/消火訓練を体験する新藤議員

全小学校に警備員配置

広島県や栃木県で相次いで起きた女児殺害事件を受けて、市は3学期が始まる1月10日から、市立の全小学校100校と養護学校1校に警備員を一人ずつ配置することを決めました。

市議会最終日の12月21日には、本会議にこのための追加予算約7200万円が上程され、全会一致で可決しました。

全小学校での警備員の常駐は、14政令市で初めてで、保護者からは大きな効果が期待されています。

市の教育委員会によると、去年4月から約70件に登る不審者情報が寄せられており、女子中学生がカッターナイフで脅されて車に連れ込まれそうになったり、女児が追い回されるなどの事件も発生しております。さらには、広島、栃木の事件を受けて、当初平成18年4月の導入を予定していた警備員配置を、急きょ時期を早めて実施することとなりました。

警備は平日の午前7時半ごろから午後4時半ごろまでの一日8時間常駐し、学校への不審者の侵入防止、登下校時の正門付近の警備、通学路の危険箇所の巡回、学校敷地内の点検等を行なうこととなっています。既に小学校では、PTAや地域住民の協力を得て、ボランティアによる警備を実施していますが、今後は警備員と協力して、ボランティアは主に通学路等のパトロールに重点を移すことになるでしょう。

制服のガードマンが校門に立つことによって犯罪抑止効果は上がるはずですが、警備員一人に任せておくのではなく、今後も学校と地域ボランティアによる協力体制は維持していくこととなります。



1月10日 さいたま市立上小小学校

緑区の違反盛土 搬出開始

12月議会でも問題となった、見沼田んぼ内にある緑区宮後の市道とそばを流れる芝川の堤防が、大量に持ち込まれた盛土によって隆起変形した事件について、市農業委員会から原状回復命令を言い渡されていた個人事業者が、12月23日から土砂の搬出作業を開始し、1月15日までに全ての盛土を搬出することとなりました。

問題が発覚したのは、11月22日で、市道を車で走っていた市民から「道路が隆起して車の走行に危険です。」との通報があり市農業委員会事務局の職員が現地調査したところ、芝川沿いの広さ約4千㎡の畑に持ち込まれた8千から1万㎡によってできた最大10mの盛土を見出すとともに、芝川左岸に沿った市道が最大1.5m隆起し、多数の亀裂が入って通行不能となっている状況や芝川の堤防にも亀裂が入り川側に変形、さらに、河床には土圧で隆起してきた半円型の土留めが見つけました。

盛土を行った事業者は12月23日には、大型ダンプカー約30台で土砂を市内数ヶ所に搬出し始め、年末まで作業を行いました。1月9日には土砂搬出作業が開始されており、市農業委員会では作業継続の督促を行っています。

この箇所は、芝川が東から南に向かって大きく流れを変える水衝部に当り、出水期の6月までには、堤防と河床の改修を完了させる必要があります。

見沼田んぼ内には、他にも数カ所違法と見られる盛土が存在し、同委員会では、市内全域で1月16日から3日間かけて不法盛土の調査とパトロールを行ないましたが、このような問題が二度と起こらないこと、見沼田んぼの自然と緑を守る上からも早期の解決が必要と言えます。



1月9日現在
手前が隆起した芝川の河床、右奥が違法盛土
中央は、変形した道路と堤防ブルーシートがかけられている

投稿

かみこ公園 樹木銘板取付

11月3日、かみこ公園において、町内有志により、32ヶ所に樹木銘板の取付が行われました。かみこ公園はもともと農家の屋敷林を買収して公園として整備したもので、当時の樹木もそのまま残されている樹林公園となっています。樹種としては、シラカシ、コナラ、イヌシダ、ヒノキ、エゴ等の代表的な関東の在来種が、緑陰を作っています。中には、目通りが2mを超える大木も数本あり、町内でも貴重な林地となっています。

T.Tさん

昨年の夏休みにラジオ体操でかみこ公園に集まったある日、お母さん方数人から「この公園には大きな木がたくさんあって、夏には素晴らしい木陰を作ってくれて、暑い日に遊びに来ても木陰に入って休むとほっとします。でも、子供たちから木の種類を聞かれても解らず、困ることがしばしばあります。ネームプレートをつけられませんか?」とたずねられました。

近くにいた新藤議員にその話をしたところ、早速、市の北部公園管理事務所に要望を出していただき、10月中には銘板と取付金具が市から届きました。銘板の取り付けは、市で行なっても良いと言っていたようですが、自分たちも利用している地域の公園なので、自分たちで取付けようと言ったことで、仲間たちも話がまとまり、新藤議員にも参加してもらって32枚の銘板が付きました。

自分たちの知らなかった種類の樹木もあり、久しぶりに勉強させられた一日でした。

これを機会に、子供たちをはじめ多くの人たちが、ここに生えている木の種類を覚えてくれれば幸いです。

